

平成25年第3回教育委員会定例会議事録

招集日時 平成25年3月22日(金曜日) 午後1時30分開会/午後2時50分閉会
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室
出席委員 上田政憲、石橋雅之、酒谷百合子、畑中直子、旭直樹
会議列席者 掛山事務局長、宮本次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、谷口スポーツ課長、田嶋文化課長、寺田図書館長、米屋教育庶務課長補佐

梶谷課長 先に次回定例会の日程を決めさせていただきます。4月25日(木)午後3時からでご都合はよろしいでしょうか。

全委員 はい。

上田委員長 平成25年第3回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

それでは議案9号について事務局よりご説明をお願いします。

■ 議案第9号 学校医の解職並びに委嘱について

宮本次長 資料に基づき説明

上田委員長 これにつきまして何かご質問はございませんか。特にございませんね。小学校と中学校が同じ校舎になりますから兼任されるということですね。歯科医もごございますので、もう一件ご説明お願いいたします。

■ 議案第10号 学校歯科医の解職並びに委嘱について

宮本次長 資料に基づき説明

上田委員長 特にございませんか。はい、石橋委員。

石橋委員 確認ですが、第9号の橋立小中学校の歯科医は一緒だったのですか。

宮本次長 違うんです。橋立小もそのようにできないか歯科医師会にお尋ねしたんですけども、調整ができないということで今年は別々にさせてほしいというお答えでした。

旭教育長 同じく薬剤師会もそうですか。薬剤師も1人が兼務するか確認してありますか。

宮本次長 してないです。

上田委員長 橋立小中学校の薬剤師ですか。

宮本次長 両方とも薬剤師はいます。今のところ1人ずついるはずです。

旭教育長 薬剤師は水質を調べるのですから、建物が一つになったので本当なら2人も要らないのですが。

宮本次長 申し訳ございませんが、その辺は把握しておりません。

上田委員長 わかりました。他にございませんか。ではこの2件について採決を採りたいと思います。ご承認なさる方は挙手をお願いいたします。

全委員 全員挙手
上田委員長 ありがとうございます。それでは、議案第 11 号について説明お願いいたします。

■ 議案第 11 号 公民館長の任命について
西出課長 資料に基づき説明

上田委員長 ありがとうございます。この件に関しまして質問、ご意見等ございませんか。
西出課長 前任者の残任期間なので一年間となります。
上田委員長 残任期間ですね。特に質問がないようでございますので、ご承認の方は挙手をお願いいたします。

全委員 全員挙手
上田委員長 ありがとうございます。以上で議案は終了しました。報告案件にまいりたいと思います。報告第6号について説明をお願いします。

■ 報告第 6 号 平成 25 年第 1 回加賀市議会定例会(3 月)について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 自分の専門学校の卒業式があるため、はじめは 8 日欠席する予定だったんですけども、卒業式終了次第すぐに戻ってまいりまして出ることができました。それから予算特別委員会は 3 年に 1 回ですが、毎年やってもいいと思うのですけども、その辺の事情をご存知の方、何かありましたらご説明をお願いします。

梶谷課長 質問内容が本会議と重なるところがあります。予算に限定したものではなくて、市政一般の質問になるので無駄ではないかということです。あとは賛成、反対、会派によってもございまして、本会議もあるんですが、3 年ぶりに開きたいということですけども、本会議の位置付けはどうなるのかということもありまして、議会の中で意見は色々あります。来年また特別委員会があるかどうかはわからないということです。

上田委員長 今の件でご質問等ございませんか。それでは次に報告第 7 号について説明をお願いします。

■ 報告第 7 号 第 1 回加賀温泉郷マラソンの参加申込状況について
谷口課長 資料に基づき説明

上田委員長 ありがとうございます。昨年から比べると参加者が随分たくさん増えてましてフォローが大変かと思いますが、宜しくをお願いします。質問はございませんか。

旭教育長 質問ではなのですが、参加者が多いのは本当にありがたいですけど、これを

運営していくのはものすごく大変なんです。運営だけではなくて、また来年もがんばろうというか、リピーターになってもらえるように、タイムを競うのではなくて来てよかったと思ってもらえる「おもてなし」を加賀市全体が心がけるような、加賀市は一つであるというまちづくりのつもりで裏方をやっていく喜びを市民にわかってもらいたいです。第1回目だから反対に何かと市民に迷惑をかけて批判がくるかもしれませんが、合併後の一つのイベントとして目的は加賀市を一つにするためにこのイベントを使おうというところが大きいです。だからお手伝いをお願いする。協力はしていただけたらと思いますが、フルマラソンに2,035人も参加するといろんな人がいます。もしも誰かが救急車で運ばれて何かあると、一辺にだめになってしまうので怖いです。だから安全対策と医療対策には万全を期して、もちろん事務局は神経を尖らせて準備をしていますけど、それをいかに市民の皆さんに周知していけるかが開催までの大きな目標になります。我々教育委員会がお願いしに行くんですけども、教育委員の皆さんも我々が主催者ですので、我々がこれを作るんだという意識で地元でもお声掛けしていただければと思います。絶対成功させるぞという意気込みはあるんですけども、何が起るかわからない。できたら、例えば山代なら山代地区で賑やかに応援を出していただきたい。山中は山中でまたお願いをする。沿道の応援を出すためにこの3温泉を結んだんですから、今までは誰もいないところを走っていましたが、それでは寂しいだろうということになりましたから、やっぱりお迎えをしないといけない。「がんばれ」とあったかい雰囲気が出ると、それがまた口コミになりますから、その辺を徹底していかないといけない。今後あと1ヵ月くらいで各区長さんなり町内会長さんにご協力を願いたい。校長会では、金明小や山代小とかで学校をあげて子どもの応援団を沿道に出してほしいということをお願いしました。これは休みの日ですから強制はできませんが、そういうのは各地区で工夫してもらえばいいと思います。皆さんもそういった後押しをお願いいたします。

石橋委員 よろしいですか。

上田委員長 はい、石橋委員。

石橋委員 フルマラソンの参加者が異常な増え方をしていますが、何か理由があるのでしょうか。

谷口課長 その辺の解析はしておりませんが、考えられるとすればハーフがなくなったので無理されてフルに参加しているのではないかと。それくらいしか今の時点ではお答えできません。第一関門が山中にありますので、そこまで行くには半分は走らないといけません。

石橋委員 私見になりますけども、私は走ったことがないのでわかりません。ただ、普段走られる方は大体20キロほど練習されているそうです。20キロ走る人はフルにいけるのではないかとというニュアンスを持っておられますが、現実には結構きついものがあるのかなと思います。ということは、山中からの帰りが

大変だと思うので、その辺の警備というか安全対策を図っていただかないといけない。その辺を怠りなく地元を代表してお願いしたいと思います。

酒谷委員 よろしいですか。愛知県や大阪がすごく増えています。加賀温泉郷ということで増えたんですか。

谷口課長 想像でございますが、まず基本的に関西圏が近いということが一つの要因であると思います。

酒谷委員 観光協会にもお声はかけてありますか。

谷口課長 日本旅行さんにパンフを作っていただいているんですが、参画していただいた旅館はたくさんあります。当然、観光協会や観光交流機構に様々な協力をしていただいております。立ち寄り湯なんか、例えば通常1,000円のところを500円にするなど、その辺の金額設定は旅館にお任せしております。なぜかという、前回無料券を配りましたら、あらゆるアクシデントがありまして、市民の皆さんにご迷惑をかける可能性がありますので分散させるために散らしております。金額はまちまちで半額以下からそのままのお値段のところもありますけど、かなり協力していただいております。

旭教育長 走る人が4,174人ということは、1人で走りに来られる方もいますけど、大体家族がワゴンで来たり、楽しみに来るんですよ。そういう点では、加賀市はいい観光地だと思いますよ。お父さんが4～5時間走っている間に回るころはいっぱいありますから。これは一時に1万人前後来るということはすごいイベントだと思うんです。教育委員会主催ですけども、全庁あげてウェルカムパーティーをしていかないといけない。こんなに集まるイベントが加賀市には他にないですよ。加賀市は観光地なんだから、町をあげて自分達のいいところを発信する場でもありますから、上手くいけば加賀市を全国に発信できるいいイベントになると思います。そういう点で地域のまちづくり協議会等も本気になって、市役所の職員も必死になってやらないといけない。事故と運営面のまずさでだめにはいけない。とにかく一生懸命やるしかありません。

石橋委員 各町内会にはエイドも含めいろんなかたちでの協力依頼をしておられると思いますが、前にも聞いたかもしれませんが、私の記憶だと各町内3人くらいと数字を限定して聞いている。それはもちろんお手伝いの人数だったと思うんですけども、それで各町内進んでいるんですか。

谷口課長 エイドのボランティアもあれば、立哨員のボランティアもある中で、エイド18カ所のお手伝いはもう決まっています。あと立哨員はどうしても人が足りません。約200名を片山津地区、金明地区、庄地区、山代地区、別所地区にお願いしていて、今100名ほどご報告をいただいております。そういうかたちで随時報告は上がっております。

石橋委員 進行中ということですか。

谷口課長 そうです。

石橋委員 個人的な思いとして、当然今から年度末ですので各町内会の総会であると

か、まちづくりの総会であるとか色々ありますので、教育長もおっしゃったように教育委員会が主催ですので、私も出席したその場その場で沿道の応援に出るような話を是非していきたいと思っております。3人だけでいいではないかという話が先立ってしまうといけない。応援と本来のスタッフと色々なお手伝いの部分と勘違いされていないか心配になりました。ボランティア3人以外に何百人か応援がほしいということをお話さないといけないと思いましたが、進行状況を確認しただけです。

上田委員長

他にございませんか。

酒谷委員

人数が決まっていますけど、当日に来られない人はいらっしゃいますか。

谷口課長

当然おいでだと思います。返金はしません。以前、小中学生は無料だったんです。無料だと別にドタキャンしても構わないので、出席率といいますか出走率に関しては前回から料金を取っていますので上がっています。当然いろんな経費がかかりますので、去年から最低でもワンコイン取っています。出走率は第1回ということもあるので期待したいと思いますが、体調のこととか仕事のこともあると思いますから絶対100%ではないと思います。

上田委員長

それくらいでよろしいでしょうか。ぜひ成功させたいと思います。

宮本次長

先ほどの補足をしたいと思います。橋立小中学校の薬剤師はどうなのかという質問ですけども、学校保健会の東田さんが小学校と中学校の両方の薬剤師をされています。あと、耳鼻科も眼科も同じ方です。

上田委員長

学校が同じになるわけですからね。それではその他お願いします。

谷口課長

よろしいですか。

上田委員長

はい、谷口課長。

谷口課長

24Pの加賀温泉郷マラソンの答弁のところですが、この時点での参加申し込み数ですので、3,616名は4,174名と答弁しております。

上田委員長

原稿の段階だということですね。わかりました。

酒谷委員

よろしいですか。この加賀温泉郷マラソンというのは何人くらいまで受け入れられるんですか。

谷口課長

実はこの辺が全然読めなかったんです。コースはご存知かと思いますが、非常に狭いところがございます。最初はあまりにも遠方の方の申し込みが多かったものですから、あまりたくさん来たら安全面が心配ですので申し込みの定員を設けるべきだったと思いましたが、その後、伸びも悪くなりまして、これくらいなら何とかなるという気がしておりますが、こればかりはやってみないとわかりません。駐車場のキャパにしてもそれなりに必要です。あまりに陸上競技場近辺が混雑したものですから、キタセンの跡地や大同工業さんの駐車場をお借りして、そこからシャトルバスを出す予定です。和倉なんかも定員を決めたのは駐車場のキャパがないからで、そういう意味では5,000人が上限かと思っております。以上です。

上田委員長

それではその他を掛山局長お願いします。

■ その他(1) 人事異動について
掛山局長 資料に基づき説明

旭教育長

今日の夕刊で市民の皆さんに発表されますが、去年までは県で高等学校分も含め一つの冊子にして、新聞発表前に教育委員さんに渡すのが通例でした。よって前日の夕方までにうちの事務局が委員さんのお宅に届けるとというのが原則でしたけども、今年からは県でその冊子は作りません。その代わり午前9時にインターネットで発表します。それを各19市町の教育委員会の関係者が見ます。私も急遽それを印刷して市長、副市長、議長にお渡ししました。同時に今日、教育委員会があるのでこの場で配付させていただきました。それが一つ。二つ目は、主に小中学校の場合は多少異動しないといけないのですが、今度の人事は極力異動を少なくしていこうというのが基本でした。今までは色々あったんでしょうけども、無駄な異動は避けて必要な異動だけにします。腰を据えて学校を見てほしいという県の方針です。教育長が変わると方針もやっぱり変わるんだと思います。そういうことが一つ。それから今年度は退職金の関係もあったんでしょうか、早期退職者が例年以上に多い。定年退職者以上に早期退職者が多かったんだそうです。小松教育事務所管内は33名が早期退職した。ということはどういうことかということ、教員の欠員が多く出るんです。そうすると来年度新しい学年に向かうときに、ちゃんと人的配置をしておかないとスムーズに動きません。どういうことになるかということ当然新採が増える。大量退職、大量採用という時代にも入っています。ここだけではなくて日本中そうだと思いますけども、ますます教職員の資質向上が大きな教育界全体の課題になってくると思います。そういう点で来年度も新採は多く採用されてくるであろうということです。また来年度も委員さんにそれぞれ計画訪問に回っていただかないといけないんですけども、いろんな意味でこれからの教育委員会のあり方として、提案を2つお願いします。一つは、去年まで色々試案を作っていましたが実行していません。来年度からは各学校を回ったらワンペーパーに自分の見た学校評価を、計画訪問の日に授業も見てもらってお気付きの点を評価に書いてもらう。そしてどのような流れで持っていくか、学校にそれを出すのか、それとも我々が検証するために事務局に出すのか、そこはまだ詰めていませんけども、ただ見るだけじゃだめだと思うんです。良いところと悪いところを評価しないといけない。これをやってみたい。計画訪問が進む前に、次回くらいの教育委員会で評価表を出したいと思います。こういうものを付けた方がいいのではないかという意見があればまた言っていただければと思います。二つ目は、加賀市の学校現場で指導にあたっている教職員と教育委員が直接子どもたちのための教育について話し合う場を設定していくことです。現場の校長、教頭、研究主任、生徒指導主任のような方々とは話しますが、一般教育の現場の声をほとんど教育委員は聞いていないので、そういう話す場を何と

か設けられないか。そこで全部集めて組みたいにやらなくても、検討課題ですが、例えば酒谷さんが担当されている山代、勅使、東谷口で校長とお話になられて、例えば東谷口小学校で全職員と教育委員が語るという場を設けていただきたいなと思います。その計画訪問のときにその場を設けるには、色々時間的制約がありますので、小松教育事務所の方も来ますし設けられないんです。だから別の日に委員さんと都合のいいときに1人で行っていただいてもいいと思うんです。この辺の検討を来年度、全職員と語る会をやってはどうでしょうか。そのときに気を付けないといけないことは、やはり法規を勉強していかないといけない。組合的なことを言われることもありますから、校長としっかり打ち合わせして実施したらよいと思います。管理運営事項というのはしなければならぬ仕事ですが、それに対しても学校の先生方は忙しいゆえにテストはやり過ぎだという意見も出るんです。「評価を実行する」ということと、「直接先生と語る会」をそれぞれの委員さんが持ち場の学校でやっていただくというのはどうかという提案です。

酒谷委員 私は一昨年、山代地区で何回かあったんですけども、夏休み前くらいにお声掛けいただいて、生徒指導的なことを山代中学校区の各小学校の先生方と中学校の校長先生、教頭先生、生徒指導の先生とそういった会を持ったことがあります。

旭教育長 私も市長に報告するときに、地区ごとにそれぞれ直接行って現場の先生方と一生懸命やっていますと言いたいんです。またそうあるべきだと思います。各中学校区で小中の連携はますます盛んになっていますから、必要な会合があったり、ぜひ教育委員と学校現場が密接に繋がるように、またそれぞれの地区の実情を話し合うとか、そうやっていけば加賀市の課題とか方針が見えてくるのではないかと。

上田委員長 確かに計画訪問に行った日だけでは、ゆっくりお話できる機会が中々ありませんから、機会を改めるのはいいかもしれません。私も教員だったからなんですけど、若い頃は法規というのは全く頭になかったですし、校長になってやっと法規の勉強を始めたというところもあったりしまして、やはり教育も何でもそうですけども、最後にベースになるものが大きいですから、そこをきちんとわかっていないと答弁に窮すると思うので、我々自身が困らないように事務局で準備していただけるとありがたいと思います。それではその次にまいります。

掛山局長 学校の先生では宮本次長が異動されます。市の職員の異動発表はまだなんですけども、今回図書館長が定年退職されます。お二人には後ほどごあいさつさせていただきたいと思います。それで事務局の方から3点ほど連絡があります。

梶谷課長 橋立小中学校の竣工式なんですけども、日程が決まりましたのでお知らせします。5月18日（土）午前10時から新しい小学校の講堂で行います。詳細は4月に入ってからご案内します。

旭教育長 次回4月の教育委員会で見通しが出来ますね。

梶谷課長
掛山局長

はい。ご出席のほど宜しくお願いいたします。
私から2点ばかりお知らせします。前回の教育委員会の折に、学校の適正規模・適正配置について、市長、委員長、教育長を含めて市長協議をして、資料をまた委員さんに送付させていただきましたという話をいたしました。実は、市長との協議の中で色々と意見のやり取りをしていただいたんですけども、市長の思いとは多少違うところがございます。今一度、事務局サイドで資料を作り直させていただきたいと思います。それをもちまして、再度教育委員の皆さんで加賀市の集団的学習についての協議をさせていただきたいと思いますので宜しくお願いします。そこから再度スタートさせていただきたいというのが一点。次に、教育体制検討会につきましても、来年度4月以降どのようにスケジュールを含めて進行を進めていくかという原案を作っておりますので、4月の委員会できちっとお示しして進めていきたいと思いますので宜しくお願いいたします。もう一点ございます。これも前にお話した、学校財務の件につきましても、学校現場での会計の準則を守ってほしい、学校の先生方も学校の予算についてしっかり把握してほしいという部分を作ると決めたんですけども、それについても4月の委員会で時間があれば、その場でご説明したいと思います。すべて1ヵ月後にさせていただいて申し訳ないのですが、宜しくお願いいたします。

上田委員長
掛山局長
上田委員長

そのときにまた資料をもう一度出していただけますか。
わかりました。お出ししますので宜しくお願いいたします。以上です。
それでは、その他ございますか。

宮本次長 寺田館長 退任の挨拶

上田委員長

お二人とも大変お疲れ様でした。ありがとうございました。3月というのは別れと出会いの季節ですから仕方のないことですよね。まだまだ事務局は年度末で大変お忙しい時期だとお伺いしておりますので、第3回教育委員会定例会もここで終了させていただきたいと思います。お疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。